

高松塚古墳発見50周年記念パネル展

高松塚古墳50年の歴史

昭和47年3月21日、高松塚古墳で我が国初の古墳壁画が発見されました。これを契機として、考古学や文化財が市民に親しまれ、明日香村の文化財の重要性が改めて認識されることになりました。今年はこの壁画発見から、50年の節目の年にあたります。

高松塚壁画館では、高松塚古墳の50年の歴史を写真で振り返るパネル展示を下記期間で実施いたします。写真は明日香村教育委員会所蔵のもの他、文化庁・奈良文化財研究所などの協力を得て、さらに発見当時撮影された花井節二氏の写真もお借りすることが出来ました。これらの写真を通じて、高松塚古墳の50年にわたる歴史を振り返っていただければと思います。

展示期間 : 令和4年5月21日(土)～令和4年7月18日(月・祝)

開館時間 : 午前9時00分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

会場 : 高松塚壁画館
TEL 0744-54-3340

※高松塚古墳壁画特別公開期間 5月21日(土)～5月27日(金)

※キトラ古墳壁画特別公開期間 5月21日(土)～6月19日(日)



写真パネル展示の様子